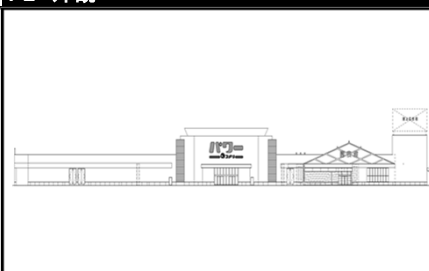




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コメリPW札幌発寒店 新築工事	階数	地上1階
建設地	西区発寒10条14丁目1069-1の内、1070-18	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域、都市計画区域内(市街化区域)	平均居住人員	1,080 人
建物用途	物販店	年間使用時間	5,293 時間/年(想定値)
竣工年	2021年7月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	16,199 m ²	評価の実施日	2020年7月1日
建築面積	9,575 m ²	作成者	
延床面積	9,504 m ²	確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★ **B+**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 58%

③上記+②以外のオンサイト手法 58%

④上記+オフサイト手法 58%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 一次エネルギー消費量の評価
建物全体の[BEE][BEIm]= 0.52

2-5 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.4**

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.3

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.6**

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項

総合 地球温暖化防止及び省エネについて配慮している。	A 省エネルギー 高効率機器、LED照明等を採用し、一次エネルギー消費量の削減を図っている。
B 省資源等 更新間隔の長い配管を使用している。	C 緑化 開発部分(敷地外)については緑地を効果的に配置しているが、敷地内については緑地を設けていない。
	D 雪処理 特に対策をしていない。

4 ほかの認証・評価制度の利用

(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	-	BELS認証	-	LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.4)
 (仮称)コメリPW札幌発寒店 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質								2.4
Q1 室内環境					0.40		-	2.8
1 音環境				2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能					-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.4	0.35		-	2.4
2.1 室温制御				2.6	0.50		-	
1 室温				3.0	0.50		-	
2 外皮性能	省エネ			1.0	0.17		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-	
1 昼光率					-		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備	省エネ			3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策					-		-	
1 昼光制御	省エネ				-		-	
2 映り込み対策					-		-	
3.3 照度					-		-	
3.4 照明制御				3.0	0.50		-	
4 空気質環境				3.3	0.25		-	3.3
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質			ほぼ全面にF☆☆☆☆建材を使用(内部仕上表参照)	4.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.50		-	
2 自然換気性能					-		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50		-	
4.3 運用管理				2.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-	

Q2 サービス性能			0.30	-	-	3.0
1 機能性			2.9	0.40	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	-	
1 広さ・収納性				-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	
3 バリアフリー計画			3.0	1.00	-	
1.2 心理性・快適性			2.6	0.30	-	
1 広さ感・景観 (天井高)		天井高=3.6m以上(矩計図参照)	5.0	0.33	-	
2 リフレッシュスペース			2.0	0.33	-	
3 内装計画			1.0	0.33	-	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	
1 維持管理に配慮した設計		②③長尺塩ビシート、⑤センサー無感知距離:1m以上、⑥主に長尺塩ビシートを施工、⑦金属系サイディング、⑧水切りを設置	4.0	0.50	-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50	-	
2 耐用性・信頼性			2.9	0.30	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30	-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上の配管を使用(補助資料参照)	5.0	0.20	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20	-	
2.4 信頼性			2.6	0.20	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	
2 給排水・衛生設備			1.0	0.20	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	

3 対応性・更新性				3.2	0.30	-	-	3.2
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		階高=3.9m以上(矩計図参照)	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		壁長さ比率=0.05	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性				2.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性			1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性			1.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出		緑化		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑化		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI _m =0.84	4.6	0.20	-	-	4.6
2 自然エネルギー利用		省エネ		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネ	[BEI][BEI _m] = 0.52 -	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング	省エネ		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	省エネ		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減		省資源		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		省資源		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		省資源	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		省資源	再生砕石(土間スラブ下)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		省資源		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		省資源	躯体と仕上げ材を容易に分別出来る	4.0	0.20	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤	省資源		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	省資源		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒	省資源		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	省資源	LCCO2=58%	4.6	0.33	-	-	4.6
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止	省資源	燃焼機器の使用なし(緊急時の発電機の運転は考慮しない)	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	省資源 悪化 軽減		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	省資源		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制	省資源 電処理		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	



■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	1.0	BEEランク	B+
建物名称	(仮称)コメリPW札幌発寒店 新築工事				
建物用途	物販店				
延床面積	9,503.6 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	
	省資源等	★★★★☆	
	緑化	★★★☆☆	
	雪処理	★★★☆☆	
		<p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>	

3. 重点項目のCASBEEスコア					
A 省エネルギー		(最高点 23.1 最低点 7.2)			合計 18.1点 /23.1点
Q1 温熱環境	スコア	0.1 /0.6	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	3.7 /4.0
Q1 光・視環境	スコア	1.5 /2.5	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 /2.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0 /10.0
			LR1 効率的運用	スコア	1.6 /4.0
B 省資源等		(最高点 23.7 最低点 7.7)			合計 16.0点 /23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.7 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.4 /9.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 /1.9
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	4.6 /5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア	3.1 /4.4
C 緑化		(最高点 15.3 最低点 3.1)			合計 4.5点 /15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9 /4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5 /2.5
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	1.2 /6.0			
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9 /2.3			
D 雪処理		(最高点 3.0 最低点 0)			合計 0.0点 /3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数